

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------|----|------|--------|------|----|-----|-----|---|
| 教科 | 農業 | 科目 | 森林経営 | 単位数 | 2 単位 | 学年 | 2 年 | コース | F |
| 使用教科書 | 森林経営 実教出版 | | | 使用副教材等 | なし | | | | |

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 目標 | 2年次では森林の測定の応用について実習を交えて学習します。また、2学期から森林の機能についての評価を学習します。また、さまざまな評価方法を学習することにより、森林の現状を知るための技術を習得します。 | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 農林業の総合的利用の改革に関する基本的、体系的な知識・技能を身につけ、森林の多様な機能、森林の測定方法及び機能の評価について理解している。 | 森林経営の計画について多面的に考察し、森林の評価を科学的に判断するとともに、森林を持続的に経営する創造的、実践的な態度を身につけている。 | 森林経営の計画に関心を持ち、森林を持続的に経営しようとする創造的、実践的に自ら学び、林業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができるか) | <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ノートへの記入はしっかりできているか) |

| | |
|-------------|--|
| 担当者からのメッセージ | <ul style="list-style-type: none"> ・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・山の中での実践的な実習の時間もあります。服装や身だしなみを正しく整えて安全に授業に臨むようにしてください。 |
|-------------|--|

| 学期 | 月 | 学習内容 学習のねらい | 観点別評価規準 |
|----|--------------|---|---|
| 1 | 4 ～ 7 | ○授業オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ | (知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度 |
| | | 第3章 森林の測定と評価 第1 森林の大きさの調査 1、樹木の直径の測定 ・樹木の直径の測定について理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・森林の測定と評価が、森林経営をしていくうえで重要な役割を担っていることを理解している(知) ・直径の測定について理解している(知)(思) |
| | | 2、樹高の測定 樹高の測定について理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・樹高の測定について理解している(知)(思) ・測定について周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態) |
| 2 | 8 ～ 12 | 3、材積の測定 ・立木材積と丸太材積について理解する ・材積の測定について用途により違うことを理解する ・材積立木の算出方法を理解する ・丸太材積の算出方法を理解する ・実際の立木、丸太で材積計算ができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・材積の測定について理解している(知)(思) ・各種の材積計算方法の特徴を理解している。(知) ・各種の材積計算方法で材積を求めることができる(知)(思) ・実際の立木、丸太を周囲と協力して求めることができる。(知)(思) ・材積測定について、周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態) |
| | | 4、森林資源の調査(概要) ・毎木調査について理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・毎木調査の目的を理解している(知) ・毎木調査な測定方法があることを知り、その時々に応じて適切な方法があることを理解している(知)(思) |
| 3 | 1 ～ 3 | 5、森林資源の調査(方法) 様々な測定方法があることを知り、その時々に応じて適切な方法があるを理解する ・全林毎木法が実践できるようにその手順を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・林分調査の種類を理解している(知) ・林分調査法の5方法を目的と役割を理解するとともに、調査目的によりどの方法が適切か選ぶことができる(知)(思) ・実際に全林毎木法で林分調査がおこなえる(知)(思) ・全林毎木法について、周囲と協力し、安全に効率よく実習に取り組むことができる(知)(思)(態) |